



Rotary International District 2510



世界に希望を生み出そう



2023-24 PETS 『財団セミナー』

『世界でよいことをしよう』



委員会 ポリオプラス委員会

氏名 志田勇人

ポリオ根絶の進展

1955



「ポリオ・プラス」プログラム創設について

- ・世界のポリオ患者は、1979年頃約50万人、その45%がフィリピンに集中。
- ・フィリピンのサビノ・サントス元ガバナーが要請し、1979年、5年計画でフィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を開始。
- ・ロータリーは保健、飢餓追放及び人間尊重（3-H）プログラムの第1号として取り組む。
- ・全世界の子どもにポリオの予防接種を行う目的で、国際ロータリー創立80周年にあたる1985年に設ける。
- ・公衆衛生イニシアチブの民間部門による最初で最大の国際協調支援で、募金目標1億2000万ドルで開始。結果2億4700万ドルの寄付が集まる。

「プラス」の意味

<設立時>

ハシカ(麻疹)、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5のワクチン



<現在>

ポリオ根絶活動を通じて築かれた**インフラ、ファンドレイジング、アドボカシー**の手法が、ほかの感染症対策にも活用されていることを示す。

強力な団体が協力 = 世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）



1988年 世界保健総会で国際ロータリーが働きかけ、設立

- ・ **国際ロータリー（RI）** 「アドボカシー担当」ポリオの認識向上、募金、政府などへの働きかけ
- ・ **世界保健機関（WHO）** 「戦略担当」GPEIの運営と管理
- ・ **国連児童基金（UNICEF）** 「予防接種担当」ワクチンの購入と分配
- ・ **米国疾病対策センター（CDC）** 「ウイルス対策担当」ウイルスの種類と感染源を特定
- ・ その後、2009年**ビル&メリンダ・ゲイツ財団(BMGF)**が加わり、5のコア団体へ「リソース担当」で民間団体として最も多額を寄付
- ・ 2019年**ワクチンと予防接種のための世界同盟（GAVI）**が加わり、6のコア団体へ

「ポリオプラス」 US\$ 1億5000万の使途 (2020-2021)



啓蒙活動 US\$ 3600万

ワクチン接種 US\$ 5850万

ワクチン費用 US\$ 2870万

ウイルスの発見・監視 US\$ 2100万



野生型ポリオウイルス症例

	1988	2021	2022
国	125	3	3
症例数	350,000	6	30

2022年発生国：パキスタン、アフガニスタン、モザンビーク

2023年1月1日～2月28日現在 今年に入ってからの新規発症確定例 0

循環型ワクチン由来ポリオウイルス症例

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
cVDPV1	3	0	27	12	35	16	19
cVDPV2	2	96	71	366	1081	682	392
cVDPV3	0	0	7	0	0	0	1

Data in WHO HQ as of 27 Sep. 2022

cVDPV(循環型ワクチン由来ポリオウイルス)

NY州、ポリオに警戒強める 緊急事態宣言を発令

【ニューヨーク=弓真名】米東部ニューヨーク州のホークル知事は9日、**ポリオウイルスに関する緊急事態宣言**を発令した。ポリオワクチンを投与できる医療従事者を医師や看護師から助産師、薬剤師などにも広げ、迅速に予防接種の普及率を上げるねらいだ。まずは10月9日までの1カ月間の期間に限定して実施する。米国ではワクチンによって根絶したと考えられていたポリオウイルスだが、2022年に入り、**ニューヨーク州内のワクチン未接種者から感染例**が出た。ニューヨーク市中心部など住民の99%以上が接種を終えている例もあるが、郊外を中心にワクチンが行き渡っていない地域も多い。**州全体の2歳以下のポリオワクチン接種率は79%**にとどまっている。8月にかけては**ニューヨーク州内の下水からもポリオウイルス**がみつかった。州は感染拡大へ警戒感を強めており、ワクチンの普及を急いでいる。

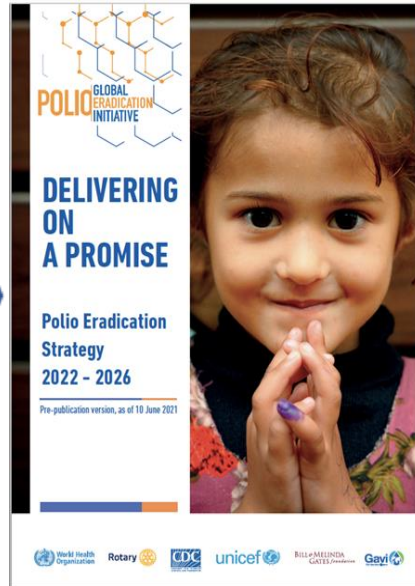
2022年9月10日 6:33 日本経済新聞



米国、欧州における最近のポリオ検出に関するロータリーの声明

- ・ ポリオウイルスが存在する限り、あらゆる場所において脅威である。
- ・ **予防接種の重要性を伝えるとともに、ワクチン接種を促進する。**
- ・ 野生型ポリオウイルスの症例がゼロに近づくにつれ、あらゆる形態のウイルスを追跡することが重要。
- ・ **高いワクチン接種率と堅牢な疾病サーベイランスを維持する。**
- ・ ロータリーは根絶のために昨年1億5000万米ドルを拠出していて、これまで**26億米ドル以上**を費やしてきた。
- ・ 年間4億人以上の子どもたちに予防接種を行っていて、**ロータリーをはじめとするGPEIの努力**がなければ、2000万人以上の人々がポリオによる麻痺になっていたことが推測される。
- ・ **新しい経口ポリオワクチンnOPV2の展開**で、ワクチン由来ポリオウイルスの発生を効果的に阻止する。

GPEIのポリオ根絶戦略 2022-2026年



ゴール1: アフガニスタンとパキスタンで全てのポリオウイルスの伝播を永久に阻止する。

ゴール2: cVDPV2の伝播を阻止しポリオフリー地域での再流行を防ぐ。

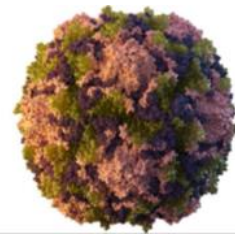
なぜ多くの資金が必要なのか？

2022-2026年の戦略資金**48億米ドル**

<今後5年間>

- ・ **年間3億7000万人**の子どもたちに**ワクチン接種**
- ・ **50カ国**でポリオやその他の病気に対する世界的な**サーベイランス活動**

ポリオの流行を制圧することで、**今世紀中に推定331億米ドルを節約**



2021-22年度ポリオプラスへの参加率（寄付しているクラブの割合）

第1地域

2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770
53.0%	63.8%	44.2%	79.4%	39.0%	50.0%	89.1%	94.0%	100%
2790	2800	2820	2830	2840				
70.7%	22.4%	100%	70.0%	100%				

第2地域

2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780
94.3%	96.2%	94.4%	39.1%	72.4%	60.3%	85.4%	98.8%	95.4%

第3地域

2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720
45.5%	89.6%	100%	41.9%	52.1%	87.7%	58.3%	93.1%	36.5%

2730	2740							
50.0%	80.4%							

平均
72.5%



DDFの20%以上をポリオプラスに寄贈いただいた地区 (2021-2022年度)

第1地域	2510	2520	2770	2800		
第2地域	2580	2600	2610			
第3地域	2670	2680	2690	2710	2730	2740

第2510地区は、昨年度\$43,000寄贈(DDFの約25%)

ポリオプラスへの寄付と寄贈の結果

	2020-21	2021-22
現金寄付	\$33,300,000	\$32,300,000
DDFからの寄贈	\$7,600,000	\$7,000,000
WFとその他	\$9,100,000	\$3,800,000
合計	\$50,000,000	\$43,100,000

$\$43,100,000 \times 130\text{円} = 5,603,000,000\text{円} \rightarrow 56\text{億}3\text{百万円}$

極度の貧困撲滅のために24億ドルのコミットメント

- ・ グローバル・シチズン・フェスティバルは毎年恒例の音楽祭
- ・ ファンは無料チケットを獲得するために**極度の貧困撲滅に向けて行動を起こす**
- ・ 国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、1985年
以来のポリオ撲滅活動の一環として、ポリオ撲滅推進計画
(Global Polio Eradication Initiative)を通じて、**ポリオ撲滅活動に1億5,000万ドル、3年間拠出し、GPEIの根絶戦略2022-26を支援**
すると表明
- ・ 「すべての人が保護されるまで、誰も保護されない」とジョーンズ
会長はAP通信のインタビューで語る
- ・ 「今、**ニューヨークで非常事態宣言が発令され、ワクチン由来の
ポリオがここに入ったことで、それは自宅の近くにあります**」



ポリオ根絶に向けて行動しましょう！

＜第2510地区の活動内容＞

- ポリオプラスへの寄付・寄贈
- ポリオプラスラジオキャンペーン
- チャリティーコンサート
- ロータリーカードの利用促進

